官民対話 事業概要書

項目	記入欄		
1. 団体名	群馬県		
2. 事業名	「憩の森」管理運営事業(仮称)		
(1) 事業内容	「憩の森」の管理運営		
(2) 事業の種類	1. 新設 2. 建替え (3) 改修 (4) 管理運営		
※該当する番号に〇(複数可)	1. 利設 2. 建骨え (3) 以修 (4) 自座運営 (5. その他(
3. サウンディングの目的	「県有施設のあり方見直し」により、利用者数が少ない等の指		
3. 7777 177 G L L L	摘があり、新たな活用方法の検討や民間間事業者による管理		
	運営に切替える方針が示された。		
	そのため、民間のノウハウやアイデアを取り入れて利用者		
	数の増加や効率的な運営方法について、検討していきたい。		
 4.事業対象地の概要			
(1) 所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保637		
(2) 敷地面積	土地:36.5 h a (渋川市から借受)うち、保安林 23.6ha		
(3) 土地制約上の制約	・上部の山林は保安林		
	・土地・森林の改変については渋川市に協議が必要		
(4) 所有者	施設:群馬県 土地・森林:渋川市		
(5) 周辺施設等	渋川総合公園 (隣接)、法水寺 (隣接)、伊香保森林公園 (隣接)、		
	伊香保温泉(約 2km)、水澤観音(約 2km)、水澤うどん街道		
	伊香保グリーン牧場、しぶかわカントリークラブ、伊香保リン		
	2		
(6) 対象地周辺の環境	榛名山中腹に位置し、山林が広がっている。		
	水澤うどん街道から伊香保温泉への途上にあたる		
(7) その他 (上記項目以外の情	周囲に県有施設、市有施設が複数隣接している。		
報、特徴、留意すべきこと等)	県有施設:県立伊香保森林公園、伊香保リンク		
	市有施設:渋川総合公園、上ノ山公園		
5. 対象施設の概要(主なもの)	既存	整備後(予定)	
(1) 施設の名称	群馬県憩の森・森林学習セン	群馬県憩の森	
	ター		
(2) 施設の延床面積	森林学習展示館:614m2	未定	
	研修館:921m2		
(3) 建物の構成 (構造・階数)	森林学習展示館:木造1階建	未定	
	7		
	研修館:鉄筋2階三階建て		
(4) 主な施設の内容、機能	【施設の内容】	【施設の内容】	
	森林学習展示館:森林学習展	未定	
	示室、講義室(定員 30 人)		
	森林学習センター事務所、森		

	林ボランティア支援センター 事務所 研修館:サロン(工作室) 大会議室(和室 39 畳)1室、 小会議室(和室 8 畳)10室 【機能】 森林環境教育、森林ボランティア支援、自然体験フィール	【機能】 自然体験フィールド、森林ボ ランティア支援等	
(5) 運営状況(運営主体、事	直営	指定管理を想定	
業手法等)			
(6) その他(上記項目以外の情			
報、特徴、留意すべきこと等)			
6. 事業関連			
(1) 現状及び課題 (2) 目的、考え方・基本方針	 ○利用者が少なく、施設を充分に活用できていない。 利用状況 7.804 人 (R2), 12,183 人 (R元) ○施設の老朽化 研修館は、以前は宿泊施設であったが、老朽化等により、調理場、入浴施設等が撤去されており、ボイラーも撤去したため、冷暖房の空調設備がない。 ○効率的な施設の管理、運営 ①目的 ・自然体験等を通じて、地域の活性化に資する施設 		
	・効率的な施設運営 ②考え方 施設の目的達成のためには、年間利用者数の増加が必須 ③基本方針 ・施設の利用者増加を図りつつ、自然体験や森林ボランティア活動、森林環境教育等に誘導する ・施設の持続的運営のため、県の支出を減少させる。		
(3) 前提条件 ※事業化にあたって事業者に考慮してほしいことなどがあれば、簡潔に記入してください。	・令和5年度から、民間事業者による管理運営に切り替える ・商業施設のみは不可		
(4) 事業スケジュール	・令和5年度から、民間事業者による管理運営に切り替える		
7. 対話内容	・管理運営に関する提案 (PFI	・管理運営に関する提案 (PFI 等の可能性、指定管理者制度を	
※意見・提案を求める内容を	導入する場合の経費削減の提	導入する場合の経費削減の提案等	
記入してください。	・施設を活用した地域活性化の提案 ・森林ボランティア支援センターの運営に関する提案 ・周辺県有施設を含めた効率的な管理		